

会 議 録

会議の名称	第2回 男女共同参画審議会
開催日時	令和5年10月3日（火） 午後7時00分～午後8時30分
開催場所	本館2階 庁議室
出席委員	■横山 美栄子 ■藤田 正雄 ■山下 永子 ■花野 天地子 ■宗岡 正枝 ■山口 尚志 ■漆谷 慎一 ■佐藤 聡
欠席委員	三牧 誠 松尾 光浩
所管課職員氏名	市民生活部理事 平田 健三 男女共同参画推進室室長 吉村 隆之 男女共同参画係長 荒井 賢一 男女共同参画係 花田 智子
会議議題	① 男女共同参画推進モデルと一行詩について ② 第2次「男女共同参画プラン・ふくつ」推進事業実施状況について
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	2名
資料の名称	・令和5年度「男女がともに歩む」一行詩優秀作品 ・男女がともに歩むまちづくり推進モデル推薦書（漆谷 慎一） ・令和4年度男女共同参画推進事業実施状況一覧
会議録の作成方針	要点筆記によるまとめ
	記載内容の確認方法 会議録署名人： 山口 尚志
審議内容	
<p>【事務局】 挨拶</p> <p>【会長】 会議録署名人の指名（山口委員）</p> <p>【事務局】 傍聴人承認依頼</p> <p>【会長】 会長挨拶 傍聴人承認</p> <p>【事務局】 この後の進行につきましては、福津市男女共同参画審議会規則第2条第2項の規定により、横山会長にお願いします。</p> <p>【会長】 次第の順番に従って、福津市男女がともに歩むまちづくり推進モデルということで、推薦書が出ております。審議委員の漆谷さんです。 審議のときには、席を外していただくと思っております。よろしいでしょうか。 （漆谷委員退席）</p>	

推薦書の方をご覧ください。これについては何か、事務局の方からご説明等お願いします。

【事務局】

漆谷さんは、今まで男女共同参画に関わり続け、もし私でよければということで、推進モデルに立候補してくださいました。漆谷さんの取組のご紹介です。漆谷さんは、今まで男性料理教室の講師、男女共同参画を考える会のペンタグラムに参加、コラムも掲載されておりました。現在は、NPO法人メッタークラブの一員として、多世代交流スペース、わいがや食堂で、こどもたちに家事をしている姿を見せていらっしゃいます。

独り親サポートとしての学習支援ボランティアでは、子供たちの気持ちに寄り添いながら、学習面はもちろん、人との触れ合い、お互いを認め合うことの大切さも子供たちに伝える活動をされております。

このような漆谷さんの活動が、第2次男女共同参画プランふくつの基本施策である、就学前学校教育における、男女共同参画の意識づくりを進め、今後もこのような活動を漆谷さんに期待していきたいと思っておりますので、推進モデルに推奨したいと事務局は考えております。

【会長】

事務局の方からも、推薦の説明がありましたので、ご質問等ございませんか。（質問なし）

メッタークラブ自体は、男女共同参画っていうことを大きなテーマを掲げたものではありませんけれど、そこでの活動の中で、性差をなくす取組の実践を重ねていると思います。推進モデルとして、ご承認いただけますでしょうか。（異議なし）

ありがとうございます。

（漆谷委員入室）

推進モデルの方は、承認ということになりました。

次に、男女がともに歩む一行詩の優秀作品がそれぞれの市内の学校から出ております。小学校は1作品、中学校が2作品、高校が3作品ということで、全部で19作品となります。

優秀作品として、12月の人権講演会の際に、表彰するということになっております。見て頂いて、特に、何か不適切というようなことがなければ、これを優秀作品として、出したいと思えます。いかがでしょうか。

【漆谷委員】

みんな違ってみんないいは、誰かありましたよね。

【会長】

みんな違ってみんないいが括弧で、括弧は引用ですが、その後の自分自身の個性を持つ、というのを伝えているのでは。

【事務局】

金子みすゞさんのままではなく、生徒さんなりに解釈をして、作品として提出して頂いています。

【山下委員】

戦争とともになくしていこう男女差別というのが気になります。戦争で無くしていこうみたいなニュアンスが、戦争が起こって、起こった時なくしていこうと感ずます。戦争という表現が余り安易に使ってはいけないように思います。

【山口委員】

私はこの人のは採用した方がいいと思うから、戦争と男女差別はともになくしていこうではダメですかね。

【事務局】

学校の中で協議の上、ここに提示しています。生徒の気持ちも入ってますので、そこを変えるというのは難しいです。

詩を学校から選んでもらった時、再度こういう文言でいいですか、間違いはないですかと、市も、学校側に再度確認しています。生徒さんと、保護者の方にも確認してもらい広報に掲載して構わないという了承をもらっています。

【宗岡委員】

これ優秀作品ということで、選ばれていますよね。

変えるべきではないし、こどもの自らの気持ちなので。そこに至るまでの先生方が使った教材とか、考え方のところはどうだかっていうところをこれから先考えて頂いて、今回この場で、そういう意見を伝えることが大切だと思います。

やはり選ばれたのに、文章が変わっていたというのは、大人でも嫌だと思しますので、いろんな考え方があって、戦争も男女差別もともになくしていこうという気持ちで、詩がつくられたということを受け取りまして、それでよしとした方がいいかなと思います。

【山下委員】

選考の際に、よく吟味をして頂いて、人によって取り方など違う印象、違う取り方をする可能性がないようにご指導して頂ければと思います。

【事務局】

皆さまのご意見を、学校側に伝えていきたいと思えます。

【漆谷委員】

男女共同参画推進室が表彰するので、審議会のフィルターを通して最終的に、優秀賞とか決めるのか、学校側が決めるのだったらノータッチでいいと思うんですが、そうでないとしたら1回集まることが必要と思えます

【事務局】

学校側で決めて頂いています。市は皆さんに優秀作品を紹介し、これを人権講演会で表彰させてもらいますという流れです。

【会長】

いろいろご意見、頂きましたので、また次に向けて改善できる場所があれば考えて頂きたいと思えます。先生方にも、確認をお願いできればと思えます。

【事務局】

わかりました。

【会長】

推進モデルと一行詩についてはご承認頂きました。ありがとうございます。

これは12月9日の人権講演会で表彰ということになっております。

では、2番目の議題で、第2次男女共同参画プランふくつの推進事業実施状況についてということで事務の方から皆さんに書き込んで頂いた資料が手元にあります。事務局の方からご説明をお願いします。

【事務局】

第2次、男女共同参画プランふくつの、ご意見を集約したシートです。お忙しいところ、ご記入頂きありがとうございました。次回の審議会までに、他の委員の方の箇所も見て頂き、ご意見されたいと考えていらっしゃる委員の方は、11月末までに事務局にご意見を頂ければと思っております。

それを反映したものを、次回の第3回の審議会最終案としてお示しして、令和4年度の取組結果報告に対する審議会の意見ということにさせて頂きたいと思えます。

12月中には、最終案を資料として皆様にお送りできればと思っております。今年度は最後になる第3回目の審議会は1月の中旬を、開催の予定日と考えております。以上です。

【会長】

それぞれご担当頂いた箇所がありますが、他の委員が書き込んだところを見てご意見がありましたら、事務局の方にメールかファクスで伝えて頂きたいということです。

ただ、これ令和4年度の事業実施に対して意見を書いて、これが今年度は皆さんのところに行かないままですよ。何かずれているのではないかなと私自身は思うんですけど。

そういう流れできているということは承知していますが、本当は年度当初なり、できるだけ早い時期に、それぞれの部局に返して今年の活動に反映させた方がいいと思うんです。

【事務局】

この事業の中には、3月末以降でないとも結果がわからないものも含まれています。

【会長】

もちろん分かります。早い時期に頂いて、意見をまとめてお渡しするということが、もう少し短いスパンで出来て、実施時期に反映させてもらえるようになったらいいのかなと思います。ご検討いただければと。

【事務局】

はい、検討いたします。

【山下委員】

この目標設定が変えられるのか変えられないのか分かりませんが、この流れだとある程度見直して、まだ修正する必要性も、検討すべきと思うのですが。これは、自分の問題点課題点を踏まえた上での目標設定ということですよ。

【事務局】

前年度の、皆様の意見を受けて今年度、各課には反映させてもらっています。

【副会長】

毎年、ずれが出てくるので、実際は令和3年度の審議会意見を5年度に反映されることもありますよね。

【会長】

令和4年の最後に、令和5年度の目標について審議会で話し合ってもらおうというのが本当はいいと思いますけれど、流れをどうするかは具体的に提案していかないと難しいかなと思います。

【山下委員】

現時点で審議会の意見が担当課に伝えられるなら、去年の結果を踏まえて目標を設定すると思いますが、今意見を言っている時点でもう一度目標設定を見直すぐらいのことは、すべきだと思います。それを先送りしてまた去年と同じようにというのは、毎回その時の課題が反映されないの、前向きに検討していただければなと思います。

【会長】

意見の方を審議会の意見として一旦一致させないといけないと思います。例えば10月中に、意見の修正とか、そういうものがあれば出して頂いて、最終確定をしないと出せないと思います。山下委員にお聞きしたいのは、目標設定は、一旦決めてるので、修正というのは違うのではないかなと思うんですけど。意見を受けての目標設定の修正というのはあるかもしれませんが。

【山下委員】

内容のところ、今回半年のところ、サブ目標なり、具体的な行動目標なりを加えるというようなことはしてもいいのでは。また、4番目の項目ですが、LINEとフェイスブックですけども、審議会の意見ではユーチューブ、T i k T o kという、具体的なSNSが、今どきのものにアップデートされて提案されています。

【会長】

意見は審議会の中で、それぞれの項目について情報を共有し、意見も一致させて出すというのがいいと思います。

【山下委員】

意見を反映した目標設定に関して、今年度中の目標設定に具体的な項目をつけた方がいいものを先に審議会でまとめ、講座の運営とか啓発活動というのが主になると思いますが、優先的に見た方がいいものをチェックし、そこだけでも見直すと良いのではないのでしょうか。

【会長】

すぐにやってくださいというのは難しいですので、来年度の計画時に、具体的な目標設定も含めて反映されるような形でできる流れを考えましょう。みなさん一緒に。
ご意見いろいろありがとうございました。今回の審議事項はこれで終了です。
4番目の、その他ということで、何かございますか。

【山口委員】

啓発活動に関してです。私は、自治会長2年した経験からしますと、自治会の活用を取り上げるのがいいのではと思います。月に1回ある郷づくり協議会には、小学校の校区の自治会長が集まってきます。そこで市がつくった回覧文書を配る。回覧として各自治会に配ると、結構な所まで広がります。市役所の職員の人が行って、回覧文書の説明をしながら自治会長に配ってもらう。それは一つの大きな手だてじゃないかと思いますが。

【事務局】

講演会や相談のお知らせがあるときは、郷づくりの事務協議会に足を運び、皆さんに参加、PRをお願いしています。

【会長】

啓発の施策項目のところを私が担当しています。啓発の資料づくりというところは、目標に従ってして頂いていると思いますけれども。

【山口委員】

自治会という文言がないので、そういう視点を入れたらどうでしょうか。

【会長】

地域づくりの中に、具体的な改善策として、山口委員は自治会のことを入れてくださったということですね。

【山下委員】

自治会の位置付けはどういうものですか。

【宗岡委員】

福津市は、郷づくりコミュニティというCSです。運営協議会とかがあります。
郷づくり関係の方や自治会の各区のリーダーの方、皆さん来て月1回、協議会を行い、その中で課題や問題を話し合い、啓蒙活動をされています。郷づくりの地域推進員さん自体は、研修は受けるけれどそれで終わり。どうやってそれを広めるかというのがよく分からないと直に聞きました。去年も、このお話をして、指導というか、広め方なりのお手伝いをして欲しいとこの審議会で意見を言いました。

【事務局】

今年も地域推進委員ということで各郷づくりの方から、男性と女性で2名出て頂くような形で、地域推進委員会というのを開きました。そこで、男女共同参画の概要説明と、市の活動をパワーポイントを観て頂きながら説明いたしました。

地域推進員の皆様には今後、市が行う事業や、講演・講座に積極的な参加、そして、参加して頂いた人たちから、その地域の方々に少しずつ輪を広げていってもらうという趣旨の話を、今年度説明させて頂きました。

【宗岡委員】

その説明は毎年してくださっていますが、きちんと参加もしたそのあとです。どうやって広めるかが具体的な手だてです。

【山下委員】 自治会長さんに男女共同参画の研修はあるんですか。

【事務局】

ありません

【山下委員】

自治会長や副会長の役割分担自体が地域の男女共同参画の課題になっていますが、山口委員がおっしゃるように、自治会長、自治会の方も本当に兼務をされてお忙しいので、その担当が決まっているのであればこの人にお任せとなってしまうと思います。

福津市としての地域のコミュニティにおいて、男女共同参画をどれだけ真ん中でしていくのか、自治会長さんに、1番の優先事項の一つと言わないと、防災など本当に重要なものがたくさんある中、全てをするというようなことは自治会長さんも難しいと思います。

自治会長さんにやってもらうためには、プライオリティーを高くして、ぜひ今年を行うということをして市のスタンスとして示さないと難しいと思います。

【会長】

先ほど言ったような委員の方が具体的に何をするかというところは、皆さんどういふふうにお考えですか。

【山口委員】

ペーパーに、男女共同参画の趣旨などを、できるだけ分かりやすくまとめた資料を自治会長に渡し、各自治会の会員に回覧でもいいから、回してもらうというはどうでしょう。

組長会議というのもありますから、その時に組長に趣旨を説明し、これを配ってくださいだけでも大分違うと思います。自治会長の方から、組長を通じて、各組の人たちに回覧でもいいからしてくださいというだけでも違うと思います。

【会長】

推進員の方がもっと他の活動を考えておられるのであれば、コミュニティで独自の講演会や、学習会の企画を出してもらうなど、実際に何か動けるような提案をしていく方がいいと思います。

本当に今出来ているものは、配布されていると思うので、もう一歩何か踏み込んだ活発な活動ができるといいと思います。

【事務局】

地域の方で男女共同参画について聞きたいのであれば、出前講座を行っています。今年度も1度別の団体ですけれどもありました。地域の人や地域推進委員の方に、出前講座のことを知らせていきたいと思っています。

【宗岡委員】

どんな出前講座があったのか。それを受けて地域で新たにどんな活動をしたのか。それを各郷づくりにお知らせすれば、こういうやり方があるんだ、あの郷づくりは進んでいる、自分の郷づくりもやってみようかな、となると思います。

【花野委員】

「綸りん」の立場からいいですか。郷づくりの方に対して、市役所と私たちは共同で活動してきました。郷づくりの方に推進員の方がおられて、その方々に男女共同参画を知って頂くために、防災と男女共同参画を、クロスロードゲームという方法で、もっと分かりやすくお伝えしています。困難な状況に陥った時にどう考えたらいいのかということ、テーマとしています。郷づくりの方には、推進員の方もいらっしゃいますが、自治会の会長さんがたくさんいらっしゃるわけですね。クロスロードを体験し、感じて持って帰るのは自治会の会長と推進員です。持ち帰って、実際にやられたところもあります。光陽台2丁目は、講演会をしようとなりました。その他にも実際にされた自治会もたくさんあります。

自治会が、自分たちで自主的にやるのか、市からもっと要請してもらいたい方がいいかは、考え方の一つと思います。推進員の方と自治会の方から、私たちの講座を受けた後で、自分のところに持ち帰り、これから先、男女共同参画のことを進めて欲しいというのは、もちろん私たちの希望です。そういう希望で取り組んでおりますが、要請がかからない。基本にあるのは、面倒くさいから、何か分からないから、もうそんなことでいちいち呼びたくないということで止まってしまっていることが多いと思います。自治会長された方が、「綸りん」の元メンバーの方だったので、よく理解しておられ自治会の中でやろうということ、積極的にされたことも過去ありました。

「綸りん」としても続けて、皆さんのお役に立ちたいと思っておりますし、市と共同で、いつでも出前講座を受ける準備はしております。

【会長】

男女共同参画参画推進室としてできる、働きかけることができるようなものは審議会で話をしやすいですが、審議会が決めてそれをするという事ではないので、事業に対して意見を言い、それを受けて、実施、次年度あるいは今年度のうちに何かあれば、考えて頂くということだと思います。

今、いろいろ出ているのはアイデアだと思います。それを実際に行う、どう何を行うかということとはそれぞれのところで決めて頂かないといけません。もし、何か新たな取組をされるのであれば、審議会の委員の方にもフィードバックして頂くと、それから先が見えるので、私たちが言った意見がどういうふうに生かされたのかが見えるので教えて頂けたらと思います。

【山下委員】

福津市は男女共同参画室が、縦割りの雰囲気を感じます。基本的に男女共同参画は横串のもので、自治会も横串だと思うのですが、男女共同参画となると、担当がやるべきものになりがちだと思います。福津市には共創センターがありますよね。SDGsの重要な項目に女性、男女平等というのがありますので、共創センターの多くの団体に男女共同参画の視点、行動を入れられるような仕組みやきっかけづくりが必要だと思います。

【会長】

人口も増えて若い世代も増えているところなので、新たなニーズや、市としても考えておられると思います。その中に男女共同参画がどれぐらい組み込めるかだと思います。

いろいろご意見ありがとうございました。今日はこれで審議事項それから連絡事項も、終わりました。これで、第2回の審議会を終了させていただきます。

どうも皆さん、ありがとうございました。

【事務局】

次回の日程は、メールでご希望日を調整させていただきます。本日はありがとうございました。